

革

六年
筆順
画数
オノ
カク
クシ
かわ

成の立ち



「獣の皮」を表した字です。
「皮」を表した字です。

ふつう、「皮の毛をぬき取ったもの」のことを言い、「皮」と「革」とを合わせて「皮革」と言っています。

「革」は、「靴」や「鞆」など、すっかり変わったものに造り変えられますので、「変わる」「変える」という意味に使われます。例：変革、改革、革新、革命、沿革。

- ▽イタリアやスペインは、皮革製品で有名です。靴やハンドバッグなど、良いものが多くあります。
- ▽十八世紀、イギリスに起こつた産業革命は、フランス・ドイツ・アメリカなどに影響を及ぼし、次々と大きな工業都市が生まれました。これ以後の産業のやり方は、それ以前と大きく違つたものになつたため、産業革命と呼ばれているのです。

使い方

△皮革製品（動物の皮を加工して作つた製品）

△変革（すっかり変えること。すっかり変わること。）

△改革（悪いところを改めて、良いほうに変えること。）

△革新（古いものを、新しいものに変えること。）

△革命（もともとは、古い王朝を倒して、新しい王朝に変わること。そこから、国家や社会が、急激に変化することを「革命」と呼ぶようになりました。「ファッシンヨン革命」などというふうに、つかいます。）

△沿革（沿うことと改めること、という意味です。ある制度や組織の変遷、歴史という意味でつかわれます。）

「わが校の沿革」などというふうに、つかいます。）

八四六

六年

閣

六年
画数
オノ
カク
クシ
かわ

14

成の立ち

門 → 門各 → 門各 → 閣

「すべり止めの石」の意味を表した「各」(4年 469)と「門」

と組み合わせて作った字です。

「門」が行きすぎないようにするために設けた」とびら止め』を表した字です。

そのようなりっぱな門のある建物は、王様の宮殿か、中央政府の役所の建物なので、『宮殿』もしくは『役所の建物』の意味を表すようになりました。

- △新しい首相が決まるとき、次に、内閣の人選が始まります。組閣は、首相の一番最初の仕事です。
- △ぼくのおじいちゃんは、各地の神社や仏閣をたずねて回るのが好きです。縁に囲まれた神域に立つと、心が晴れ晴れとするのだそうです。ですから、おじいちゃんは、あまり人の行かないような神社仏閣も、よく知っています。

使い方

- △楼閣（高くてりっぱな建物）
- △仏閣（お寺の建物。神様をまつったのが「神社」で、仏様をまつったのが「仏閣」です。）
- △天守閣（お城の中央に高くそびえている所。物見やぐら）
- △内閣（国の最高の行政機関。内閣総理大臣を頭として、その他の国務大臣と構成されています。）
- △組閣（新総理大臣が内閣を構成する各省の大臣を任命して、新しい内閣を組織すること。）
- △閣僚（内閣を構成している人。各国務大臣）
- △閣議（内閣総理大臣と閣僚とによる会議。「閣議の決定事項」などと、いいます。）

熟語例

六年

八四七